

地域再生計画（地方創生道整備推進交付金）中間評価調査

都道府県名	香川県	事業実施主体	香川県及び観音寺市	地域再生計画名	活力と魅力あふれる観光と産業のまちづくり計画
計画期間	令和2年～令和6年	評価責任者	観音寺市建設部建設課 課長 福田浩二		

	指標	基準値		中間目標値		最終目標値		中間評価	達成状況		中間目標値の実現状況に関する評価		
		基準年度		年度	中間実績	基準年度			指標総数	達成数			
①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標1	年間観光客数の増加	141万人	R2	145万人	R4	117万人	150万人	R6	×	3	1	中間目標値を28万人下回っており、中間目標が達成できていない。原因としてコロナウイルスによるイベント開催の縮小・中止されていたという経緯がある。今後、コロナウイルス縮小に伴い、観光客の増加が見込める。目標達成を目指していく。
	指標2	企業誘致社数	0社	R2	2社	R4	3社	6社	R6	○	3	1	中間目標は達成できた。引き続き計画に則した整備を図り、目標達成を目指していく。
	指標3	対象路線利用区域内での森林整備面積	0ha	R2	1.2ha	R4	0.0ha	1.5ha	R6	×			中間目標が達成できていない。地元森林組合及び地域住民との調整に時間を要しているため、0haという結果となった。今後、森林計画の策定や里山環境整備事業を達成することで目標達成を目指す。
②事業の進捗状況	事業名		整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価							
			計画	中間年度(R4)	最終実績見込み								
特別措置を適用して行う事業	市道整備事業（整備延長）		3,075m	1,380m	2,775m	当初計画に対し、路線延長から見る進捗率は、45%と若干の遅れが伺えるため、必要に応じて計画期間の延長も視野に入れ、引き続き、計画に則した整備を目指していく。							
	林道整備事業（整備延長）		296m	277m	313m	当初計画に対し、路線延長から見る進捗率は、約83%と順調に進捗しており、必要に応じて計画期間の延長も視野に入れ、引き続き、計画に則した整備を目指していく。							
その他の事業													
計画外で独自に実施した事業	アニメコンテンツ活用地域活性化事業		観光客数の増加を図るイベント事業		ファンイベントの実施、市内観光地コラボポスターの制作等のコンテンツツーリズム促進事業の実施（現在は観音寺市単独事業）								
	森林環境保全整備事業		森林整備作業に支援		自助努力だけでは適切な整備が期待できない森林において、景観に配慮した森林整備を行う（林野庁支援事業）。								
	観音寺市工場等立地促進事業		企業誘致社数の増加を図る支援		一定の要件を満たした製造業の工場等を新規（増設）で取得した場合、固定資産税相当額（上限あり・3年間）の助成を行う（観音寺市単独事業）。								
	合同就職説明会		企業誘致社数の増加を図る支援		観音寺・三豊市に事業所を有する企業（約60社）による新卒予定者・中途採用者を対象にした就職説明会を2市合同で開催（市単独事業）								
	地域振興イベント推進事業		観光客数の増加を図るイベント事業		地域の活性化と観光客誘致のため、またイベント実行委員会の自立支援のための資金補助を行う（観音寺市単独事業）。								
③評価方法	データの聴き取りを行い中間目標値の実現状況に関する評価・検討などを行った。（観音寺市観光協会のデータ、香川西部森林組合の実績聴き取り等）												
④中間評価の公表方法	観音寺市のホームページに掲載。												
⑤計画全体の総合評価	本地域再生計画では、道整備交付金を活用して市道と林道を一体整備により、周遊しやすいルートの確保を目的とする。臨海部においては企業誘致と集客施設を設けることで、雇用創出、観光目的以外で訪れた人々を観光へと誘導する。また、林道においても森林環境保全整備事業を進めていくと同時に、保全対策により、木材生産及び流通に係る移動や輸送の効率化と新たな流通経路の長寿命化実現を目的としている。現時点で指標に対して目標達成の見込みが厳しい状況にあるが、少しでも達成できるよう、引き続き地域再生計画の事業展開を図っていくものである。												
⑥今後の方針等	中間評価結果の反映状況					有りの場合その具体的内容							
	地域再生計画の見直し（有・無）					計画上の道路整備を行うことで地域間のネットワークが強化・整備がなされているが、中間目標の達成が遅れている。中間評価の結果を踏まえ、今後の整備箇所や整備量の見直しを行う。							
	令和6年度予算要望額への反映（有・無）					林道整備について施工箇所の追加申請を行う。							
	有りの場合の増減額 Δ 14,648 千円					市道整備については他事業の方が効率的に進められる路線については、本計画から削除し、他事業で実施する。							
⑦今後の方針等に対する対応	中間目標・KPIの達成状況が当初計画していた目標に達成できておらず、進捗状況として大幅に遅れている。 現在、抱えている指標への対策 指標①：市道・林道の工事の早期発注や適切な進捗管理を行い、本市へのアクセス性の向上や交通ネットワークの整備効果を上げることで交流人口・観光客の増加や雇用の増加につなげていく。 指標②：臨海部における分譲地への企業誘致を引き続き行い、人材確保に対して就業説明会の開催等による支援の実施やハローワーク観音寺等、関係機関との連携強化を図り人材確保に向けた支援を行う。 指標③：森林経営管理法の施工に伴い、森林整備が推進されることによる林業就業者の増加に対応できるように森林計画の策定や里山環境整備事業等、森林整備の実績を積み上げていく。 計画期間内での完成が困難な状況ではあるため、今後の市道・林道の整備箇所や整備料に対して見直しを行い、目標達成を図っていく。												